

2025年10月28日

関係各位

野村ホールディングス株式会社
コード番号8604
東証プライム市場・名証プレミアム市場

インベストメント・マネジメント部門の運用資産残高が100兆円を突破

野村ホールディングス株式会社(代表執行役社長 グループCEO:奥田健太郎、以下「当社」)は、このたび、2025年9月末時点のインベストメント・マネジメント部門の運用資産残高(ネット)※が100兆円を突破しましたことをお知らせします。

当社は、2021年4月に、多様化するお客様の運用ニーズに応える商品ラインナップの拡充やサービスの向上を目的として、広義のアセット・マネジメント・ビジネスを担うインベストメント・マネジメント部門を設立しました。国内外の政府系機関、年金基金や金融機関などの機関投資家や個人投資家に対して株式・債券に代表される伝統的資産からプライベート・エクイティ等のオルタナティブ資産まで、さまざまな商品・サービスを提供してきました。資金流入にも支えられ、運用資産残高は部門設立時(64.7兆円)から4年半で約35兆円増加しました。

インベストメント・マネジメント部門長の南村芳寛は、「運用資産規模を追求するだけでなく、今後も高度な運用力やソリューション創出力に裏付けされた付加価値の高い資産運用サービスを提供することで、お客様のみならずさまざまなステークホルダーの期待に応えていきます」と述べています。

当社は今後も、「金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する」というパーパスのもと、社会課題の解決につながる投資の好循環を促し、資産運用立国の実現に貢献していきます。

※ 運用資産残高には、野村アセットマネジメント、ノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネジメント、ウエルス・スクエアの運用資産の単純合計(グロス)から重複資産を控除したものに加えて、インベストメント・マネジメント部門傘下の運用会社の運用資産に対する第三者による投資額を含みます。

以上